

# もとさわ 本沢地区の歴史や伝統

## 歴史グループ

ぼくたちが紹介したいのは、山形市本沢地区の歴史についてです。特に城山には、いろいろな歴史や歴史的な建物があります。紹介したいことは三つあります。

一つ目は、神社・仏閣についてです。城山には、6つの神社・仏閣があります。春日神社は、明治時代に平和や安全を願うために建てられました。長谷堂観音は、1051年に苦しみや災いのない世を願って建てられました。他にも、八幡神社や阿弥陀堂、ころり観音、稲荷神社などがあります。ぜひ、お詣りしに来てくださいね。



二つ目は、遺構です。遺構とは、主にお城を守る役目があったものです。城山の周りを囲む水堀や深田は、敵が城を攻めにくくする役目を果たしていました。八幡崎口を登ったところに、土塁があります。土塁とは、敵の侵入を防ぐために斜面を削った土手のことです。もっと急な斜面もありま



す。それは、切岸です。切岸は人工的に斜面を削ってつくった急な崖のようなものです。

城山の西側に10m以上も高い切岸があります。斜面を削って平坦にした場所は曲輪といます。周りに建てた柵の間から銃や弓を撃ったり、建物を建てて寝泊まりしたりしていました。城山には他にも様々な遺構があるので、実際に登って見てみてくださいね。



三つ目は、長谷堂合戦についてです。1600年、長谷堂地区で最上義光、志村光安軍対直江兼統軍が戦いました。最上軍は、城山の地形（現在の遺構など）を活用して籠城し、最後まで負けることはありませんでした。長谷堂合戦については、ぼくたちが作った「本沢地区の魅力発信サイト」にもクイズとしても載っています。どうぞご覧ください。

このように、本沢地区にはたくさんの歴史があります。ぜひみなさんも調べて、実際に見に来てくださいね。